

横浜市青葉区の 地域調査

青山学院大学地球社会共生学部3年
石井 南帆



横浜市青葉区

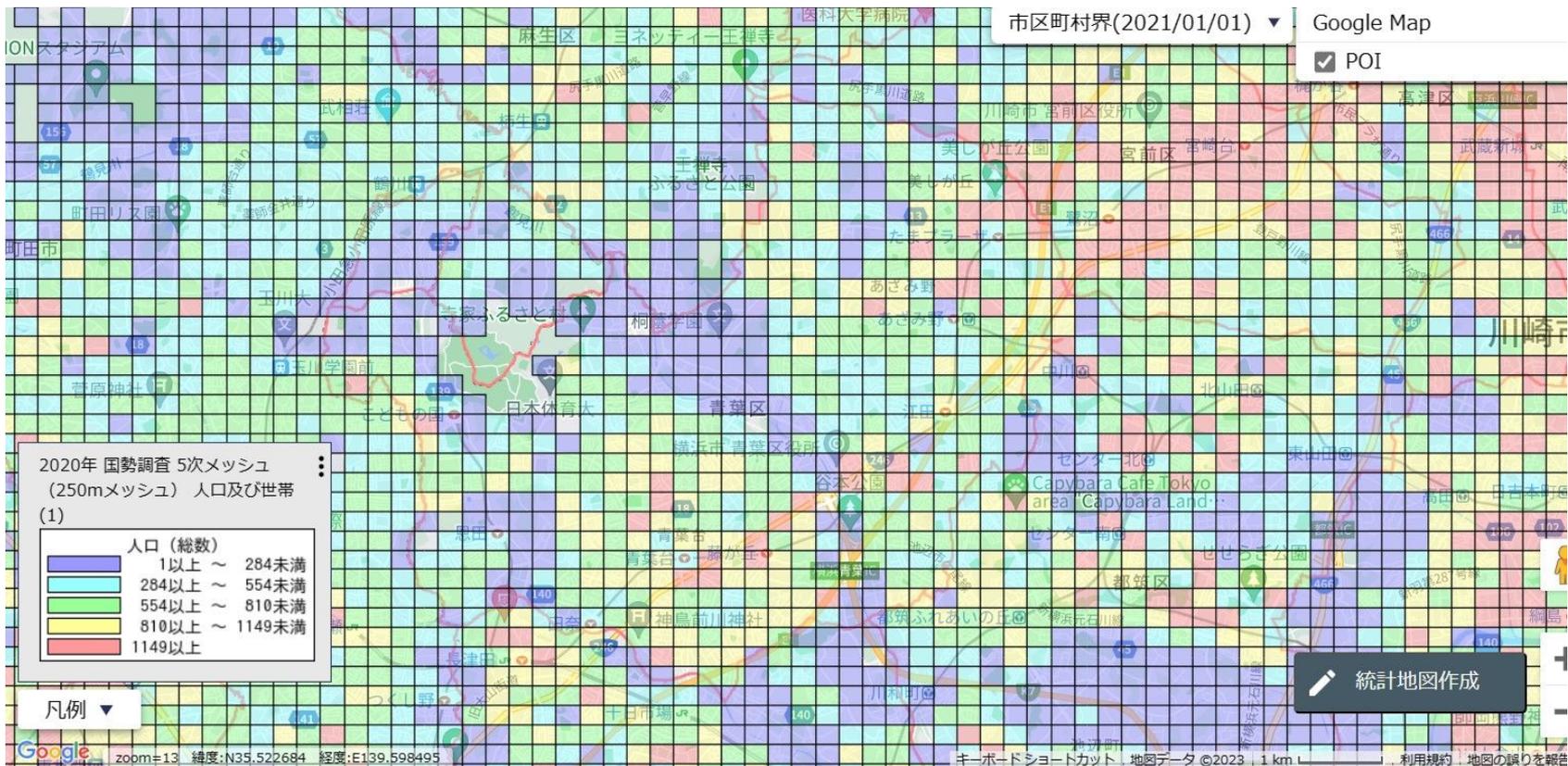
横浜市の北西部にあり、区の中央部を鶴見川が流れ、
田園風景も見られる緑豊かな街。
区の木はヤマザクラ、区の花はナシであり、
果物のナシは「ハマナシ」と呼ばれ市内有数の生産高がある。



←青葉区制15周年を記念してつくられた
マスコットキャラクター
「なしかちゃん」



総人口





総人口

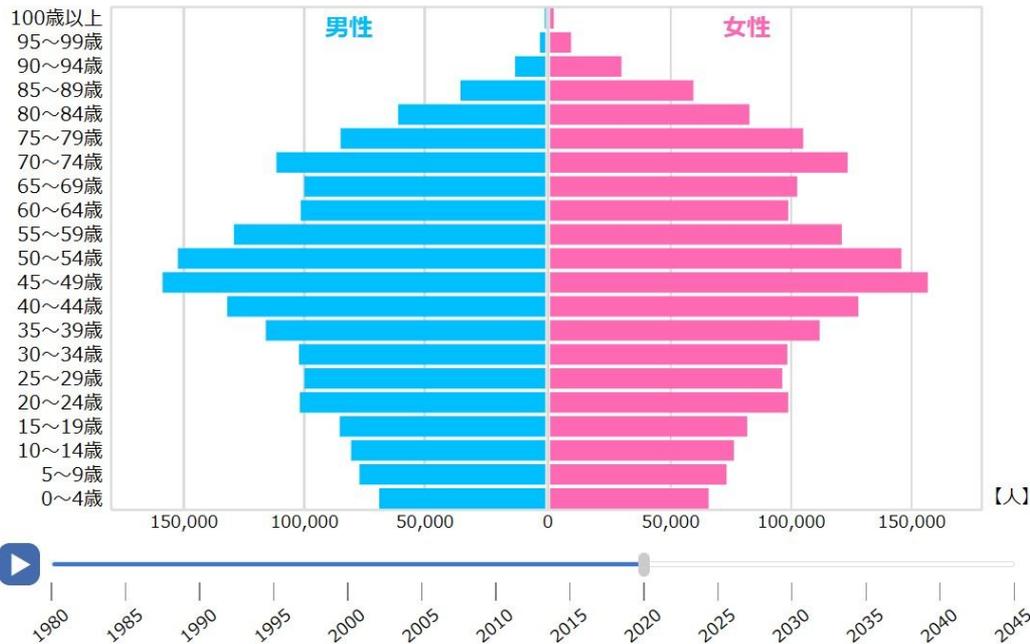
- ・青葉区を通る主要路線である東急田園都市線沿線、
特に急行停車駅である長津田・青葉台・あざみ野・たまプラーザ付近の人口が多い。
- ・鶴見川周辺、恩田川周辺は人口が少なめ。
- ・横浜1広い公園である「こどもの国」周辺は人口が少ない。



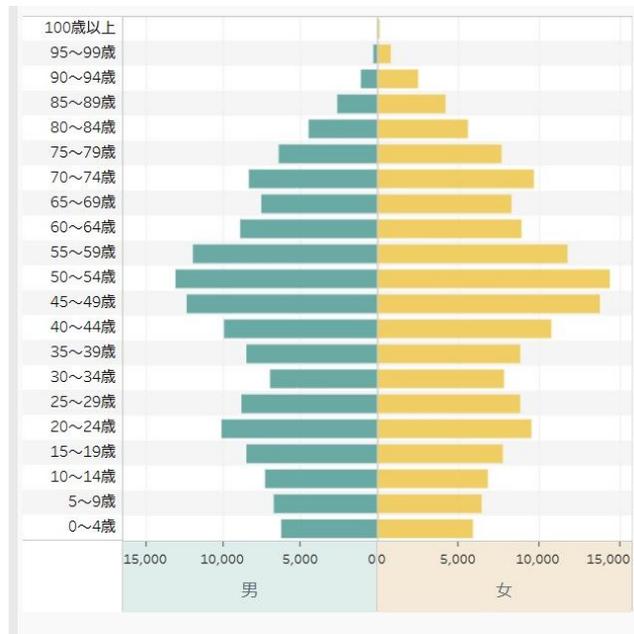
人口ピラミッド

時点: 年

神奈川県横浜市



横浜市の人口ピラミッド(2020年)



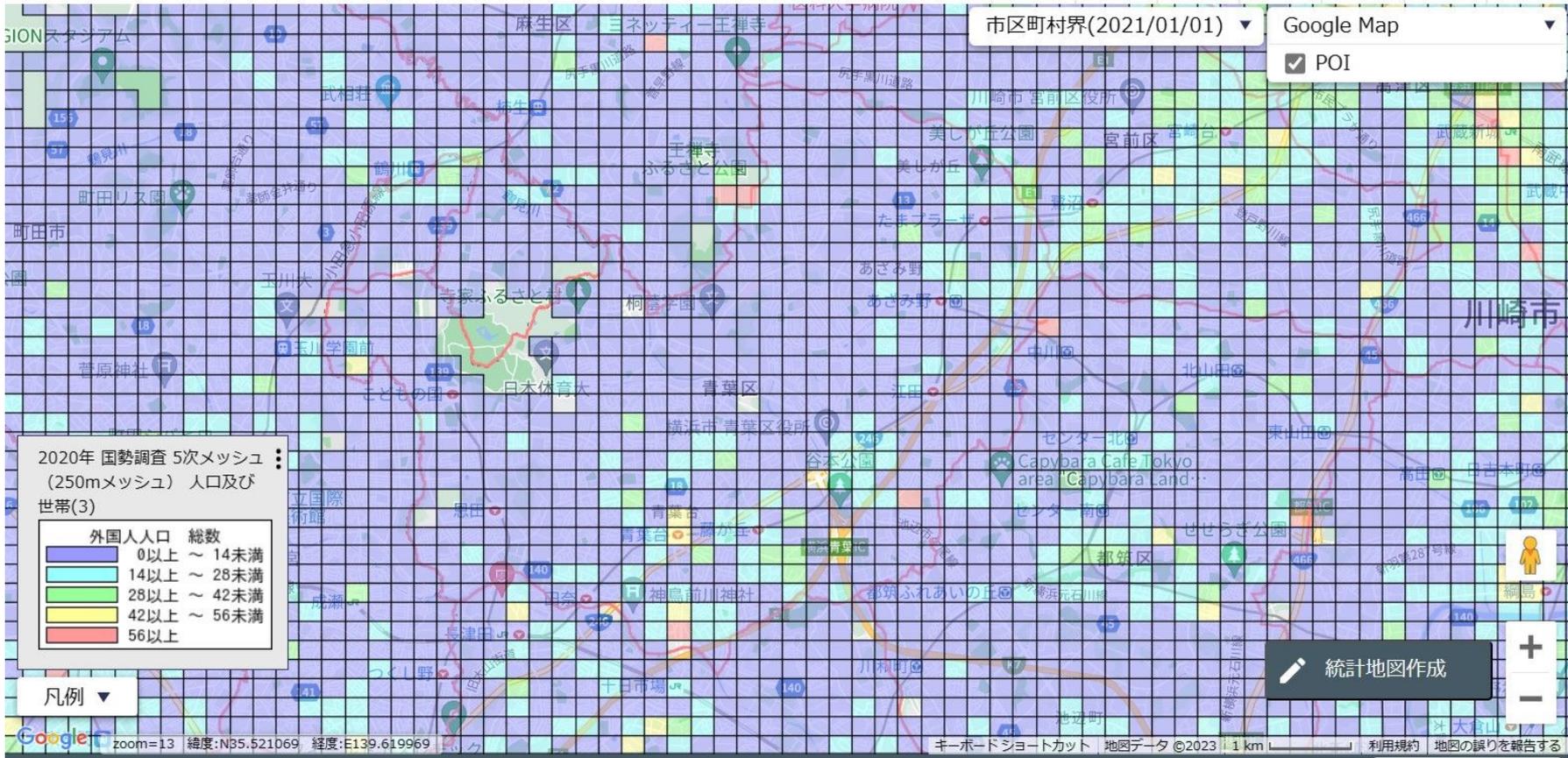
横浜市青葉区の人口ピラミッド(2020年)



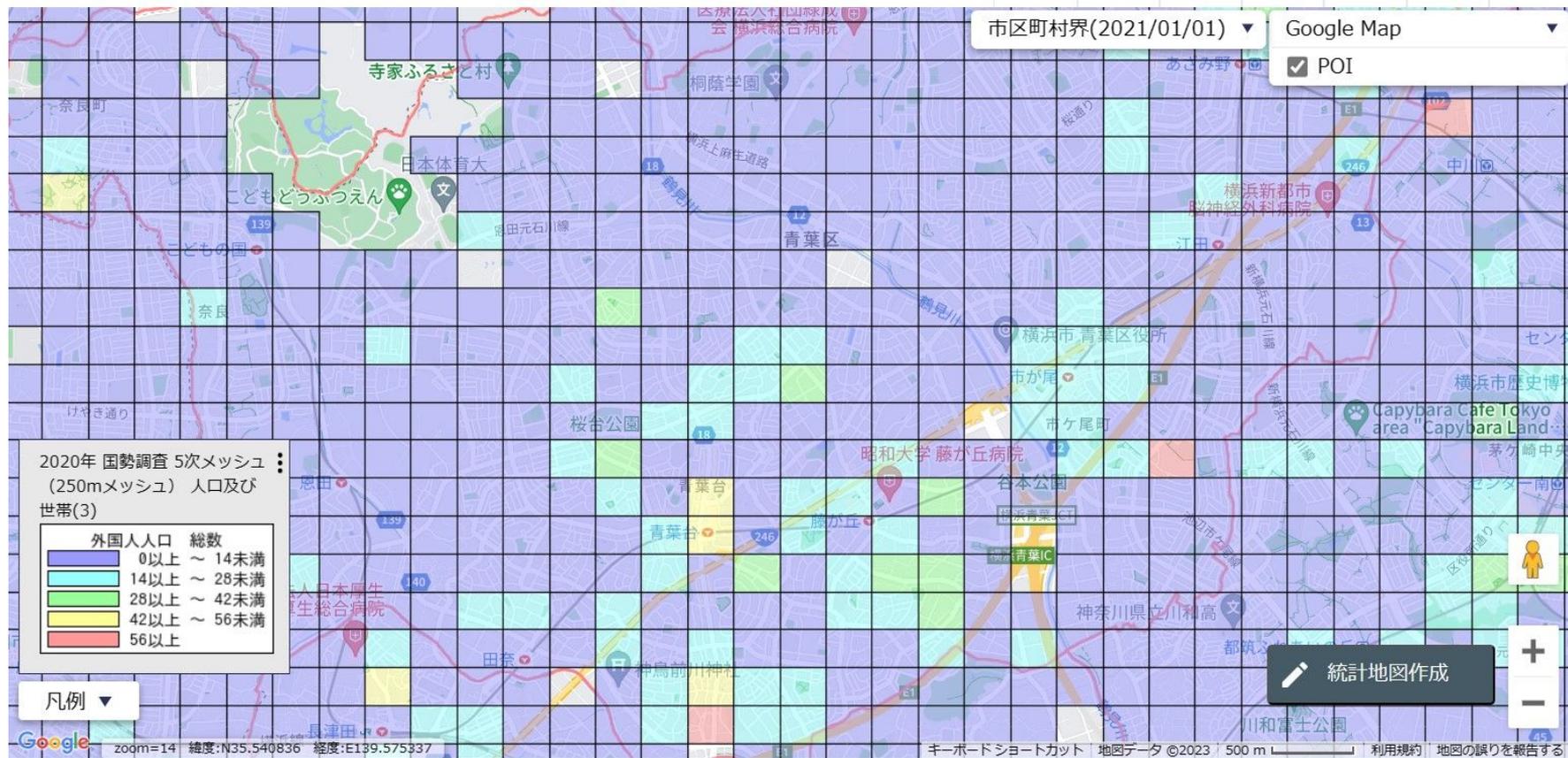
人口ピラミッド

- ・圧倒的つぼ型
- ・横浜市全体に比べて青葉区は50~54歳の比率が高くなっており、
横浜市青葉区の人口の中心も同じ世代(50~54歳)が中心となっている。

外国人人口



外国人人口

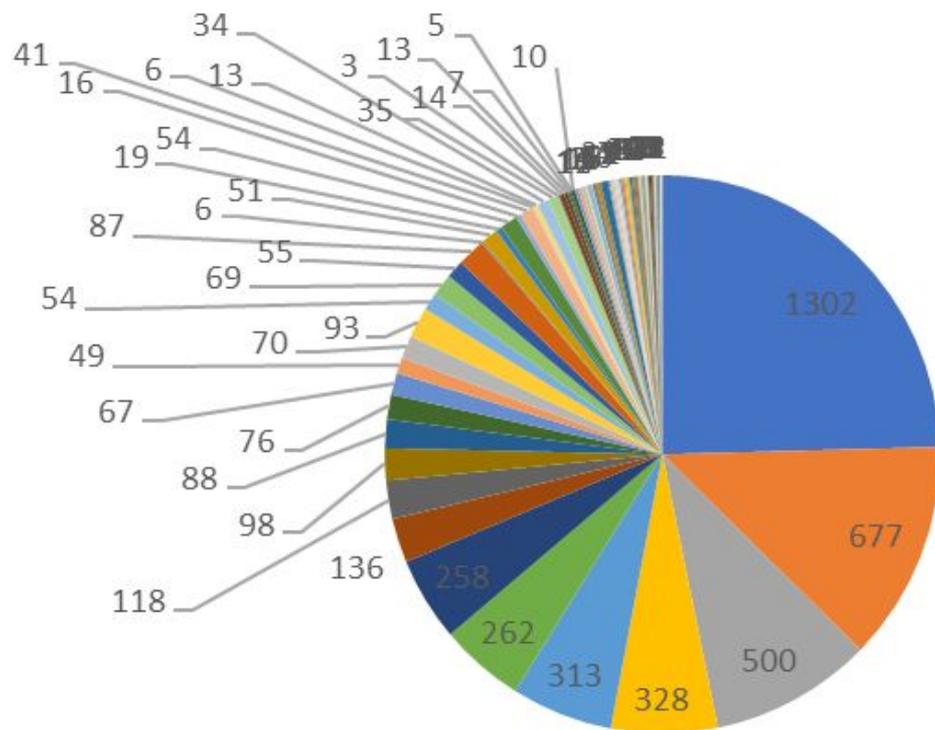




外国人人口

- ・田園都市線沿線の人口割合が高い
- ・駅名で言うと青葉台、長津田あたりが多い

外国人人口



この2か国が約3割を占めている

- 中国
- 韓国
- ベトナム
- フィリピン
- インド
- インドネシア
- 米国
- 台湾
- スリランカ
- ミャンマー

2030年の横浜市青葉区

- ・比較的若い区であるとされている「青葉区」だが、人口ピラミッドを見てわかる通り、着実に高齢化は進むと予想される。

